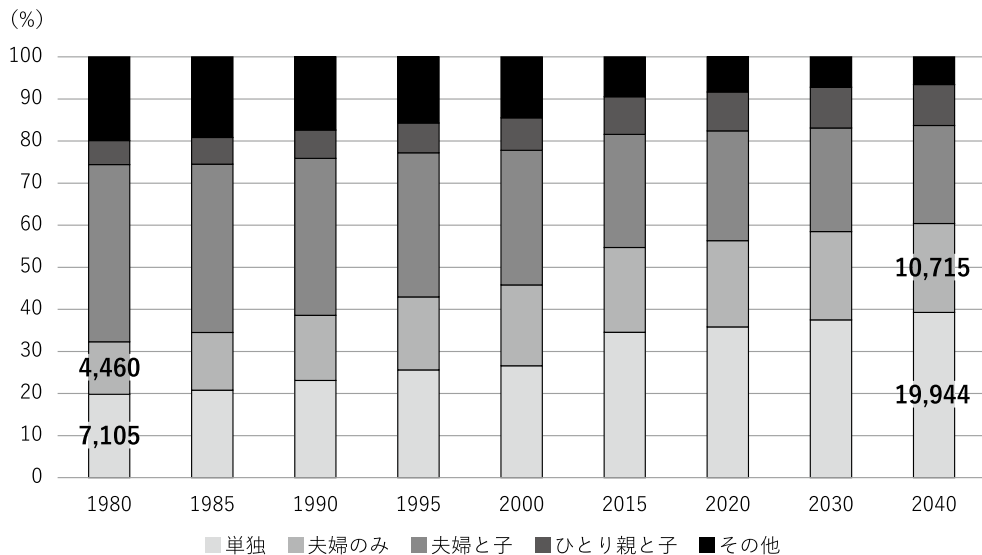


家族類型別世帯数の変遷



2040年には実に39%が単独世帯になる。国立社会保障・人口問題研究所の公表した世帯数の将来推計は、日本の家族類型が大きく変わりつつあることを示している（2020年以降は推計値）。65歳以上の一人暮らしの増加に加え、1990年代以降の未婚化・晩婚化がその背景にある。家族の支援が期待できない単独世帯・未婚世帯の増加は、地域における医療・介護の各種サービスにどのような影響を与えるだろうか。

国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」より作図